

(ご参考：4/15) 経済関係ニュースレター (在シアトル総領事館)

ワシントン州日系企業・団体・レストラン関係者の皆様

在シアトル日本国総領事館経済班です。

本ニュースレターでは、当地の日系企業・団体、レストラン関係者の皆さまを含む在留邦人の方々へ、当地経済や日米関係等のニュースを「経済関係ニュースレター」として配信するものです。今後はパンデミック関係のニュースは減ってくると思われますので、もし今後の配信を希望されない場合は、件名に「ニュースレター配信解除」と記入の上、こちらまでメールを返送ください。

本日の参考情報を以下のとおりお知らせします。

このニュースレターでは、多くの方にご利用いただける有益な情報の提供があった場合、情報元を示して掲示しています。なお、このことは、総領事館として、情報元の団体・個人をいかなる意味でも宣伝・推薦するものではないことを申し添えます。

本ニュースレターを追加で受け取りたい方が周りにいらっしゃいましたら、[こちらの登録フォーム](#)をご紹介ください。また、当地日系企業等に周知できる有益な情報などございましたらお知らせください。館内で確認し、公平・中立の観点から適切なものを本ニュースレター等で共有させていただきます。

在シアトル総領事館では別途、月2回の英語ニュースレター"From Japan to the Northwest"を配信しています。こちらでは日本に関する政治・外交等の情報や当館の活動などを発信しています。登録及び過去のアーカイブは[こちら](#)から。

1. 経済再開、地域経済関連ニュース

(1) 米国のインフレ率が8.5%に 1981年以来最高値を記録

サプライチェーンの停滞と消費者の購買意欲に加え、世界的な食糧とエネルギー市場の混乱により物価は上昇し続けており、ウクライナ戦争によって事態はさらに悪化している。米国の今年3月の物価は、1年前から8.5%上昇と1981年以来最大となった。さらに、今年2月から3月の物価上昇率においても、ガソリン価格の上昇により、1.2%と2005年以来最大とな

った。アメリカ人の大半は昇給したが、収入の増加がインフレ率に追い付いていない。しかしながら、雇用市場は好調であり、インフレが消費を抑制するには至っていない。(11日付けシアトルタイムズ記事)

(2) 円安ドル高基調は続く見込み

為替円相場は13日に、約20年ぶりに一時1ドル=126円台となり、14日の東京外国為替市場は一転して125円台前半に上昇したものの、市場には急速な円安への警戒感から一時的に円を買い戻す動きはあっても、「円安・ドル高の基調は続く」との見方が広がっている。年内には130円台に突入する可能性も指摘されている。(15日付け時事通信)

(3) バイデン大統領が来週金曜日にシアトル訪問へ

ホワイトハウスによると、来週金曜日にジョー・バイデン米大統領によるシアトル訪問が予定されている。詳細はまだ発表されていないが、アースデーに際して、「米国家庭のコストを引き下げ、クリーン・エネルギー経済を促進することを訴える」とされている。(15日付けシアトルタイムズ記事)

(4) CDC 公共交通機関でのマスク要件 2週間延長

CDCは4月18日に期限を迎える予定だった公共交通機関でのマスク着用要件を、国内での新規感染者数が増加している中、2週間延長することにした。当局は、この動きは慎重を期するためのものであると述べている。これにより、マスク着用要件は2022年の5月3日まで延長された。(13日付けシアトルタイムズ記事)

(5) ロシアへの経済制裁 ボーイング社に大きな影響

ボーイング社は12日の定例発表において、ロシア向けとされていた141機の受注を削除した。製造品質問題を抱える787型機のデリバリーは引き続き停止されており、同社のライバルであるエアバス社に比べて納入機数が少なくなっている。(12日付けシアトルタイムズ記事)

(6) ワシントン州とオレゴン州を結ぶI-5の新しい橋 通行料が課される見込み

ワシントン州とオレゴン州の州境となるコロンビア川に架かるI-5の新たな橋は、2州に跨るプロジェクトであるため、オレゴン州とワシントン州の交通委員会は通行料の施策と料金について協議しあうことになる。オレゴン州では既に同橋に通行料を課すことを決定しているが、詳細については未定。通行料は、2025年末もしくは2026年初頭まで課されないと見られる。(10日付けシアトルタイムズ記事)

(7) 医療機関の元従業員がコロナワクチン接種の拒否による失職を不当として提訴

ウェナチー市の医療機関コンフルエンス・ヘルスの元従業員 48 名が、新型コロナウイルスのワクチン接種の義務に従わなかったことで離職または解雇されたことを不当として、同病院に集団訴訟を起こした。同訴訟では、病院側が従業員らの自然な免疫力により仕事を保持することを認めなかったとし、職場復帰または失職による損害補償を求めている。[\(8日付けシアトルタイムズ記事\)](#)

2. COVID-19 感染状況・ワクチン関連情報

(1) 米国内のコロナ感染者数が再び上昇

現在、米国内のほとんどの州でコロナ感染者数が再び増加しており、専門家は、他の変異株と比べて 30%ほど伝染性が高いとされるステルスオミクロン (BA.2) 株による感染が米国全体に波及する可能性があるかと警告している。[\(15日付けシアトルタイムズ記事\)](#)

(2) ステルスオミクロン株により、州北東部での感染者数増

ステルスオミクロン (BA.2) 株が米国内で支配的になったことで、新型コロナウイルスの感染者数が州北東部で再び増加している。専門家は、医療システムを脅かし、経済を大きく混乱させた昨冬の感染急拡大が再び起こる恐れはないとしている。最近の上昇が、より大規模な急増の始まりとなるかは現時点で不明だが、アメリカの前兆となるイギリスや他のヨーロッパ諸国が回復しつつある点について指摘する専門家もいる。[\(12日付けシアトルタイムズ記事\)](#)

(3) ワシントン州 一様ではない新型コロナウイルスの影響

ワシントン州において、パンデミックがどう作用したかについて、地域により異なるデータが明らかになっている。オミクロン株及びデルタ株の感染拡大時、カスケード・太平洋地域では、州内の新規感染者数、病床数、そして死亡率において最も高い数値を記録した。東ワシントンは、ヤキマ、ワラワラ、ガーフィールド郡と並び、新型コロナウイルスにより、次に大きな影響を受けた地域である。州保健局のデータは、死亡率の高さが、貧困ラインよりも下で暮らす人が多い地域と関連していることを示した。貧困ラインは慢性的な健康状態と結びついており、医療へのアクセスを妨げるとされている。[\(12日付けシアトルタイムズ記事\)](#)

(4) ワシントン州保健委員会 新型コロナウイルスのワクチンを K-12 で必須とすることに反対

ワシントン州保健委員会は13日、現時点では新型コロナウイルスに対するワクチンをK-12の就学に必要な予防接種に含めないことを決定。ワクチンが就学児に与える影響に関する新しいデータや、子どもにより深刻な影響を与える新たな変異種が出現した場合、将来的にこの問題について再検討する可能性がある。[\(13日付けシアトルタイムズ記事\)](#)

(5) 自宅での検査結果が陰性でも、コロナウイルス保持の可能性

[11日付けシアトルタイムズ記事](#)によると、自宅用の迅速抗原検査は、鼻腔に入れた綿棒からウイルスタンパク質を検出するが、陰性結果が出たからといって、必ずしもコロナウイルスを保持していないわけではない。何らかの症状がある場合は、コロナウイルスもしくはほかのウイルスが侵入した際の免疫反応である可能性がある。免疫システムがウイルスを攻撃しようとするほど、ワクチンの抗体によって免疫システムが過給され、感染していても初期の迅速検査では陰性結果が出る傾向にある。[\(11日付けシアトルタイムズ記事\)](#)

(6) 米食品医薬品局 (FDA) 呼気によるコロナ検査の使用を許可

FDAは14日、呼気分析によるコロナ検査機器に緊急使用許可を出したと[発表](#)。同機器は小型のスーツケースほどの大きさで、感染した際に呼気に含まれる物質を検知するもの。結果は3分以内に出るとされている。[\(14日付けFDAプレスリリース\)](#)

3. 総領事館からのお知らせ

(再掲) 邦人留学生のインターンシップ応募について

在シアトル日本国総領事館では、現在、邦人留学生のインターンシップの募集を行っています。応募を希望される方は、4月17日(日)までに(1)参加申請書、(2)有効な旅券・査証及び学生証の写し、(3)大学からの推薦状をinfo@se.mofa.go.jpにメールで送付してください。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

編集後記： 今朝は、色とりどりのコスプレ姿の人たちに囲まれて出勤しました。今日から17日まで、ワシントン州コンベンションセンターで[サクラコン](#)が開催されます。この米北西部で最大のアニメと漫画、ゲームの祭典には、日本のポップカルチャーのファンたちが大集合します。パンデミックで過去2年間は中止となっていましたが、今年は再開し、今日のオープニングセレモニーでは、稲垣総領事が勇ましい甲冑をつけ、武士になって登場。会場は大いに盛り上がったようです。今週末ダウンタウンにいらっしゃる方は、工夫をこらした各種のコスプレをご覧になれるチャンスです。(ちなみに、入場チケットはすでにSold outだそうです。)

(参考：在シアトル日本国総領事館)

- ・毎月 11 日は [日本食の日 \(Japanese Restaurant Day\)](#) です
- ・ [新型コロナウイルス関連情報](#) (全般的な情報)
- ・ [日本へ入国・帰国するすべての方へ ～日本の水際対策措置～](#) (3月2日更新)
- ・ [2022年経済再開・新型コロナウイルス関係情報](#) (3月1日更新)
- ・ [新型コロナウイルス危機の影響を受ける中小企業・NPO・労働者への支援策一覧](#) (12月15日更新)
- ・ [州保健局 新型コロナウイルス日本語ページ](#)

(注意点)

本情報は、ワシントン州の主要な行政機関や団体のウェブサイトの情報をもとに、その時点における当地日系企業・NPO・邦人労働者に役立つ情報を、皆様のご参考として迅速に日本語で届ける目的で発信しているものです。法的助言を構成するものではなく、法的助言として依拠すべきものではありません。実際の申請等に当たっては、該当するウェブサイトで最新の情報や詳細を直接ご確認ください。なお、当館として個別企業の申請書作成等の支援は出来かねますのでご容赦ください。

(免責)

本メール又は当館情報に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。

(領事メールについて)

当館では外国に3ヶ月滞在される在留邦人に対し、旅券法に基づく在留届、帰国・転出等の届出をお願いしております。本届けでメールアドレスをご登録いただいた方に対して、コロナに関する情報や各種安全情報を領事メールにてお送りしておりますほか、緊急時の安否確認を当館から行うためにも必要なものですので是非ご協力ください。詳細はこちらをご覧ください。 https://www.seattle.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/zairyu.html

(Unsubscribe:本日系企業支援関係メールについて)

当館が把握しておりますワシントン州日系企業にお送りしております。今後、本メールが不要な方はその旨ご返信をお願いいたします。

Consulate-General of Japan in Seattle

701 Pike Street, Suite 1000

Seattle, WA 98101

206-682-9107